

# 事業報告

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

## 1. 総括的概要

国内の景気は一部経済の回復が見られているとの発表もありますが、県内の商工業を取り巻く景気は依然として厳しい状況下にあります。そのような状況にありながら、私達商工会青年部は『汗を流し進む』のスローガンの下「各委員会事業」や「みさわ七夕まつり」「クリスマスフェスタ」を通し三沢市の地域活性化・福祉の増進に取り組んで参りました。

平成 21 年度の委員会事業として「新・ご当地グルメ委員会」を発足し一昨年夏に青年部で開発した B 級グルメ「バラ焼きドッグ」を県内各地のイベントに参加し国際色豊かな三沢らしさをアピールして参りました。その結果サークル K サンクス様から商品化したいと依頼を頂き県内 200 店舗のコンビニエンスストアで販売するという事が出来ました。青年部と企業の共同開発企画は好評を博し再発売される程でありました。県内における三沢という知名度を上げる為の一翼になれたのではないかと考えております。

「地域密着委員会」では他団体との連携事業のほかに、あいさつ運動に力を入れました。商人としての基礎であるあいさつを通し三沢に元気を表現して参りました。特に昨年の三沢航空祭では県内外からのお客様に対してアメリカ広場に於いて、青年部が元気よく「ようこそ三沢へ！」の声でお迎えを致しました。すれ違う方々から気持ちが良い、朝から嬉しいと好評を頂き観光客への挨拶から始まるおもてなしができました。

「総務委員会」におきましても部員拡大の為の事業を企画し新たな仲間を迎える事が出来ました。

地域振興事業である「みさわ七夕まつり」は昨年初めてアメリカ広場にメイン会場を移した年でした。大きなトラブルもなく好天に恵まれ大盛況のうちに終了する事ができました。「クリスマスフェスタ」ではイルミネーション飾り付け以外にも皆様から善意を募り、市内の幼児施設を回り子供達へ多くのプレゼントを贈ることができました。

こうした一年間の活動を通し地域の方々との触れ合いや、子供達の笑顔に出会う事ができました。そして何より汗を流し活動を共にしてくれた部員達との繋がりを深められた事が、今後の地域振興活動における大きな源になると確信いたしております。

結びに、私達青年部は試行錯誤を繰り返しながら、仲間達が三沢市の事を真剣に考え様々な事業を実施できたのも三沢市・三沢市商工会そして各関係諸団体の皆様からのご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。事業報告と致します。

平成 21 年度 三沢市商工会青年部  
部長 竹林 大輔